

12月 29日 **新たなSNS映えスポットに
串間青年会議所が高松にモニュメントを設置**



1文字の幅と高さが約2メートルの
巨大モニュメントと串間青年会議所メンバーの皆さん

串間青年会議所は高松漁村広場に、「串間」の漢字を立体的に表現した木製のモニュメントを設置しました。「串間にSNS映えするスポットを作りたい」と2018年の夏ごろから構想を練り、シンプルで分かりやすい漢字のデザインを採用。本市の「まち・ひと・きらく☆よかまち創造事業」を活用して、昨年11月に国道220号線からはっきりと見える敷地内の小高い丘に完成させました。同会議所理事長の内藤圭亮さんは「夕日が沈む時間帯に撮るのが文字のシルエットがきれいでおすすめ。串間を発信する場として使ってもらえたらうれしい」と話していました。今後はソーラーパネルを使ったライトアップも計画しています。

本市の特産品である完熟さんかん「たまたま」がどのように生産されているかを知ってもらおうと、生みの親である古屋修市さんの農業用ハウスでさんかんの収穫体験が行われました。北方小学校の1、5年生と秋山小学校の全校児童が参加。児童たちは高さ約1.5～2.5メートルの木にたわわに実ったさんかんの中から大きな実を探して、はさみを使って丁寧に摘み取っていました。その後すぐに試食して旬の味覚を味わっていました。北方小学校1年生の奥浦妃南さんは「大きい実がとれて楽しかった」と笑顔で話していました。

11月 14日 **大きなさんかんを探して
小学生が収穫体験**



収穫体験を楽しむ児童

本市では新型コロナウイルス感染症の影響で消費が低迷している農畜水産物の消費回復と、地元食材の理解を深めてもらう食育の一環で、宮崎牛やみやざき地頭鶏、ブリなどを昨年10月から2月にかけて給食で提供しています。今回の給食ではみやざき地頭鶏の親子丼が提供され、大平小学校の児童らは口いっぱい頬張っていました。5年生の大嶋蘭奈さんは「鶏肉がやわらかく味もしっかりしていておいしかった」と笑顔で話していました。

11月 20日 **市内小中学校児童が
地産地消の給食味わう**



地元食材の味を堪能する児童ら



先月号の「くしぴ」でもご紹介しましたが、12月12日に「道の駅くしま」の指定管理者である株式会社海山社中と観光施設の「串間温泉いこいの里」および「都井岬観光交流館PAKALAPAKA（パカラパカ）」は、市内を周遊するための仕組み作りについて協議を行いました。協議はそれぞれの運営状況などの情報共有や周遊の仕組み作りに向けた企画を話し合い、今後も連携を図っていく予定です。今回はその詳細についてご紹介いたします。



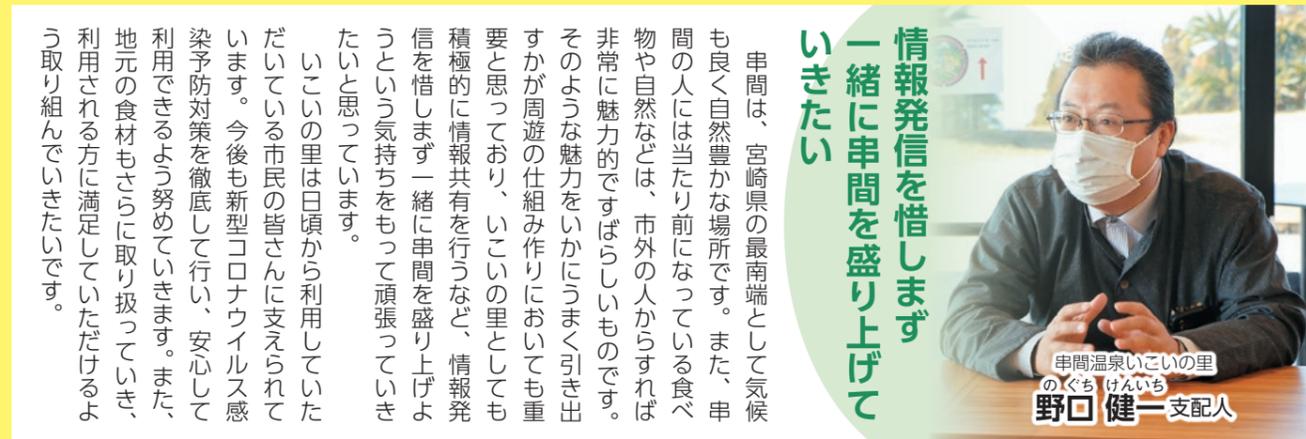
道の駅くしま指定管理者
株式会社海山社中
ほりぐち けんいち 社長

**連携して
新たなサービスを提供し
周遊の仕組みを作りたい**

道の駅くしまは、今年の春にプレオープンを予定しており日々準備を進めています。全4施設のうち一つに「情報館」という施設があり、情報の拠点として交通情報だけでなく観光情報などを含めた市内の情報を発信する役割も担っています。そこで各観光施設の情報を積極的に発信するには、さらなる連携を図っていく必要があると考えており、いずれは連絡協議会みたいなものを作って随時情報共有を行えたらと思っています。

また、情報共有だけでなく、共同出資などの形で、ソフトクリームの引換券や割引券など各施設で使えるクーポンや、PRのためのCMを打ち出すなど、新たなサービスの提供を行い、連携して周遊に向けた仕組み作りを行っていかねばと思っています。

道の駅としても、いろいろなことを模索しながら、最終的には串間全域の活性化を目指してこれからも取り組んでいきたいです。



串間温泉いこいの里
のぐち けんいち 支店長

**情報発信を惜しまず
一緒に串間を盛り上げて
いきたい**

串間は、宮崎県の最南端として気候も良く自然豊かな場所です。また、串間の人には当たり前になっている食べ物や自然などは、市外の人からすれば非常に魅力的です。市外の人からすれば、そのような魅力をいかにかうまく引き出すかが周遊の仕組み作りにおいても重要と考えており、いこいの里としても積極的に情報共有を行うなど、情報発信を惜しまず一緒に串間を盛り上げようという気持ちをもって頑張っていきたいと思っています。

いこいの里は日頃から利用していただいている市民の皆さんに支えられています。今後も新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底して行い、安心して利用できるよう努めていきます。また、地元の食材もさらに取り扱っていき、地元の人材もさらに取り扱っていき、利用される方に満足していただけるよう取り組んでいきたいです。



都井岬観光交流館
PAKALAPAKA
わたなべ りょうじ 館長

**ここにしかないものを
提供していきたい**

都井岬観光交流館パカラパカは、昨年4月にオープンしましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、2度休館しました。そのような中、何かできることを考え「ここでしか食べられないもの」として、串間産しらすを使った「しらす丼」と、市内かまぼこ店のすり身を使ったお魚コロッケをのせた「パカラパーガー」を開発し、お客さまより高評価を得ております。串間の魅力ある食材を生かした「食」による誘客促進についても、積極的に取り組んでおります。

都井岬は県内有数の観光地として有名であり、雄大な景色を堪能できる絶好の場所だと思えます。今後も感染予防対策を徹底して安心してくつろいでもらえる空間を提供しながら、新しい取り組みをさらに行いつつ、各観光施設との情報共有など積極的に連携していき、串間の魅力をどんどん発信していきたいと思っています。